

印西大師 第23番 清戸・薬王寺

- 1 名称 (No.023)〔手引鏡：薬王寺〕〔資料館：薬王寺〕〔行程表：薬王寺〕
- 2 場所 白井市清戸6 薬王寺
谷田・西福寺から道程約350m
GPS座標 35.793144919327375, 140.09034878835868
- 3 由緒 天台宗 青龍山 薬王寺
清戸村字先神にあり 青龍山と称し天台延暦寺派にして小本寺泉倉寺末なり 由緒不詳 檀徒207人（印旛郡誌）
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が3体あり。うち1体は伝教大師（最澄）と思われる。
- 5 境内 大師堂のまわりは本堂、薬師堂、白井七福神のほか石像物も多くある。
- 6 写真 (2023.10撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



本堂



御大師様 (伝教大師)



御大師様 (弘法大師)



薬師堂



大師堂



白井七福神

7 情報

- (1) 印西大師 第23番 薬王寺 御詠歌（泉倉寺本による）
皆人の病みぬる年の薬王寺 瑠璃の薬を與へましませ

四国八十八ヶ所 第23番 高野山真言宗 医王山(いおうざん) 無量寿院 薬王寺(やくおうじ) 写し

(2) 薬王寺

薬王寺は、創建が大同年間（806～809年）といわれております。平成13年(2001年)3月10日に本堂が新造されました。本尊は阿弥陀如来です。境内には薬師堂を配し近くに観音堂があります。雨乞いの竜神伝説が伝わる千葉県指定史跡「清戸の泉」の由来が伝わっております。しろい七福神めぐりの弁財天が祀られています。(千葉県公式観光物産サイトより)

(3) 印西大師の結願

1929年(昭和4年)に薬王寺で印西大師の結願を行っています。(2009.03.15広報しろい)

(4) 清戸の泉(附) 版木(県指定文化財)

船橋カントリー倶楽部の8番ホール脇にあるこの泉には、平安時代初期の大同年間（806-810年）に早魃があり、里人が餓死寸前というときに、諸国を旅している僧の勧めで竜神へ祈祷したところ大雨と共に小さな青竜が落ちて来たという伝説が伝えられています。



附指定(ついたりしてい)になっている版木「青龍山薬王寺并(ならびに)堂作辯財天女縁記」は近くの薬王寺で保管され、竜神伝説と清戸地区の地名の由来について記されています。版木には「文政11年(1828年)再版」という文字が見え、古い時代からこの伝説が語り継がれていたことを窺わせます。なお、北総地域には同じような内容の竜神信仰に基づく伝説や遺跡が伝えられていますが、清戸の泉はその代表例とされています。



※見学は自由ですが、その際には船橋カントリー倶楽部のクラブハウス内にある受付に申し出て許可を得てください。(白井市HPより)

(5) 船橋カントリークラブ・ウォークラリー

5月の新緑の頃開催されていた船橋カントリークラブウォークラリーの際に、薬王寺の御住職が清戸の泉の前で竜神伝説についてお話をしてくださった(右の写真は2019年5月)のですが、



新型コロナウイルスの影響でウォークラリーが中止されてしまいました。いつかウォークラリーが再開されたなら是非参加して、もう一度お話を聞ければと思います。